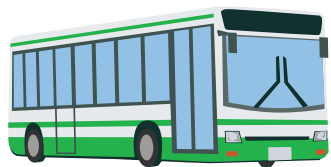


市バス

減便計画 過去最大



交通局は、4月のダイヤで大規模な市バス減便計画を発表。46路線・平日439便(8.4%)が減ります。

その背景には、①市のバス支援予算の削減 ②経営安定化を理由に、数年先まで交通局の黒字を確保するため、座席数27席の2倍、「55人程度」の乗車を目安にする方針への転換があります。「すし詰め」状態となり、高齢者やベビー



カーを押す方から転倒の不安の声や、車イス利用者からも「乗れなくなる」の声が上がっています。

高齢者の外出機会の減少は健康を損ない、人が出て行かなければ地域経済も悪化します。減便を中止し、「安全なバスを」「神戸の元気を守れ」の声を上げて頑張ります。

市議員として4年目を迎えています。生活のお困り事や地域の課題解決に向けて取り組んできましたが物価高が続く中、さらに中東情勢の影響を受けて「節約も限界」「農業やっていけない」など深刻な声が寄せられています。

3月27日に行われた本会議では、市民のみなさんの願いをまっすぐに市政へ届け支援や改善を求めてきました。日本共産党神戸市議員団は、大型開発優先ではなく暮らし生業を応援、平和都市を守れと奮闘しています。

引き続きみなさんの願い実現へと頑張っています。



3月27日一般質問

イラン攻撃の影響を受ける 事業者や市民へ支援を!



燃料やシンナーなどの資材不足や高騰が深刻になっています。

4月20日、日本共産党神戸市議員団は神戸市長(経済観光局)に対して、国へアメリカ、イスラエルによる攻撃の中止を求めると同時にイラン攻撃による市内事業者や医療機関、農業・漁業関係者などの資材不足をはじめ危機的な状況に対する緊急支援の申し入れを行いました。局担当者は「幅

広い問題であり国の財源措置がなければ何もできない」「国に要望したい」など消極的な回答で引き続き関係団体や市民のみなさんと一緒に危機打開へと頑張ります。



経済観光局に申し入れ

地域要求の実現へ

剥がれた標識整備

国道事務所へ要望



Before



After

桜が丘南公園の「ごみ捨て禁止」看板設置



歩道の根上がり改修



Before



After

「神戸空港」の軍事利用ストップ!



訴えをする日本共産党神戸市議員団



アメリカとイスラエルによる「イラン攻撃は中止を」「憲法9条守れ」と抗議の声が全国各地で広がっています。3月30日、国は「神戸空港」を有事(戦時)に向け、平時から自衛隊が訓練に使用できる様、「特定利用空港」に検討していると非公開で説明会を行いました。12月上旬までに神戸市と確認書を交わす計画です。軍事利用されると攻撃の対象になるのは必至です。設置管理者は神戸市であり「神戸空港」の使用を拒否する事は出来ます。神戸市は、市民の命や暮らしを守る責任が問われています。日本共産党神戸市議員団は、平和都市として空港や港を軍事利用させない様に申し入れを行いました。

お気軽にお声をかけて下さい

森田たき子 市政報告

定例駅頭

西神中央駅

毎週火曜日 7時~8時

学園都市駅

毎週金曜日 7時~8時

西区事務所

西区玉津町高津橋297-12 TEL 919-6650 FAX 918-3772

神戸市議員 もりた たきこ

森田たき子

日本共産党 神戸市会報告 西区版 2026年初夏号

日本共産党神戸市議員団

検索

発行:日本共産党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL 322-5847 FAX 322-6165

女性が安心して働けるよう支援を

「正規雇用は諦めました」「仕事がない」と女性の声が寄せられています。神戸市内の女性就業率は44.8%で「政令指定都市ワースト3位」と低い実態があり、とりわけ正規雇用への支援が急がれています。物価高騰の中で、山形県は女

性の雇用を促進するため正規雇用すれば1人あたり10万円の支給を行っています。

神戸市でも女性の就労支援を実施し、女性が安心して働けるよう男女の賃金格差を改善すべきです。

高校生 通学定期補助の拡大

市内高校へ通学 → 全額補助

市外高校へ通学 → 半額補助

西区・北区は隣接区域として明石市・三木市・三田市へ出願でき進路指導されています。

2025年度・市外の進学者(西区)

王塚台中学校	107人うち51人
岩岡中学校	90人うち62人
玉津中学校	215人うち79人

「市内高校の維持を目的とする制度」「西区の市外への進学率は減少している」との久元市長の冷たい答弁に対し、森田たき子議員は「市内在住は全員に全額補助すべきで、教育は平等が原則だ」と厳しく追及しました。

引き続き、高専や定時制などにも卒業するまで全額補助を拡大するよう力を尽くします。



農業「渇水化」対策

今年も異常気象が予想されています。「水の管理」は農家の死活問題に繋がります。地元任せではなく神戸市が責任を持って安定供給できるよう必要水量を明確に示し確保すべきです。

副市長は「農業用水の管理は地域ですもの」「必要水量の把握は難しい」と背を向けました。

「ため池が渇水した場合、東播用水、河川から取水は難しい。どこから補充するのか」との森田たき子議員の質問に対し、経済観光局長は「直ちに問題が生じる事態にはならない」と実態を見ない答弁。



田井簡易水道

有機フッ素化合物

「PFAS」汚染への支援



2025年7月、西区神出の田井簡易水道から発がん性などが指摘されているPFASが基準値(50ng/L)を超え検出され、水道局が給水場の設置を行うなど対応してきました。

小学校は市水道に切り替える事も出来ましたが地域全体の切り替えは数年先になります。水道組合は多額の費用をかけ「PFAS除去装置」を設置して対応しています。

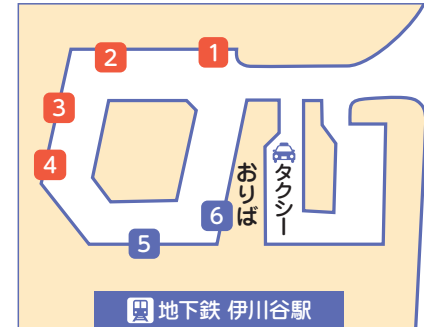
久元市長 「簡易水道は地域で運営している。PFASは全国的な問題だから、国への要望はしている」と答弁

森田たき子議員 「水質検査費や除去装置への支援をすべき」



3月27日一般質問

伊川谷駅バスロータリー 上屋整備を



市バスと神姫バスが共用使用する駅前ロータリーの上屋は、繋がっていないため雨の日など傘をさし長い列で並び高齢者、障がい者の方は不便な思いをされています。

神戸市は利便性の向上へ上屋を繋ぎ、市民の願いに応えるべきです。

「障がい者用の乗降場所はバリアフリー対応すべき」との森田たき子議員の質問に副局長は「利用実態や現地の状況を見て検討したい」と答えました。

市民に届く

物価高対策を

2026年度神戸市予算組み替え提案

減額する主なもの

▼都心・三宮再整備	232.5億円
▼大阪湾岸道路西伸部事業	77.1億円
▼神戸空港の国際化	33.1億円
▼王子公園の再整備	44.1億円
▼須磨多間線工事	7.5億円
▼医療産業都市の推進	25.3億円

市債(借金)の発行の抑制 189.0億円

増額できる主なもの

▲高校卒業まで医療費無料	22.0億円
▲小中学校の修学旅行費や教材費無償化	22.8億円
▲小中学校の学校給食無償化	9.1億円
▲中学校の全学年で35人学級	7.9億円
▲給付型の奨学金制度の創設	7.0億円
▲国保料・介護保険料の負担軽減	23.0億円
▲敬老祝い金や生活保護世帯見舞金の復活	2.6億円
▲市バス路線の減便・廃止の中止	3.7億円
▲賃上げや中小事業者への支援金	19.0億円
▲住宅・店舗リフォーム助成の創設	8.0億円
▲学校・学童保育・特養など公共施設の増設	50.0億円
▲道路・橋梁の改修費用の増額	20.0億円

85億円以上財源をねん出